

公立大学法人青森県立保健大学
令和4年度 業務実績評価書

令和5年8月

青森県地方独立行政法人評価委員会

目 次

| | |
|---|---|
| 第一 評価の基本的な考え方 | 1 |
| 第二 評価の結果 | 3 |
| 1 全体評価 | |
| (1) 総評 | 3 |
| (2) 業務の実施状況 | 4 |
| (3) 組織、業務運営等に係る改善事項等 | 4 |
| 2 項目別評価 | |
| (1) 教育に関する目標を達成するための措置 | 5 |
| (2) 研究に関する目標を達成するための措置 | 6 |
| (3) 地域貢献及び国際交流に関する目標を達成するための措置 | 6 |
| (4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置 | 7 |
| (5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置 | 7 |
| (6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに 当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置 | 8 |
| (7) その他の業務運営に関する重要目標を達成するための措置 | 8 |

第一 評価の基本的な考え方

青森県地方独立行政法人評価委員会は、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（令和5年法律第58号）附則第3条第3項の規定に基づき、公立大学法人青森県立保健大学（以下「青森県立保健大学」という。）の令和4年度における業務の実績について、以下の基本的な考え方により評価を行った。

評価の実施に当たっては、青森県立保健大学の年度計画に定めた事項ごとにその実績等を明らかにした業務実績報告書及び法人への聴取等に基づき調査・分析を行い、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行う。

1 項目別評価

中期計画に掲げる次の事項ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特筆すべき事項の内容を総合的に勘案して、5段階により評価する。なお、教育研究については、その特性に配慮し、専門的な観点からの評価は行わず、外形的な進捗状況を評価する。

- (1) 教育に関する目標を達成するための措置
- (2) 研究に関する目標を達成するための措置
- (3) 地域貢献及び国際交流に関する目標を達成するための措置
- (4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置
- (5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
- (6) 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置
- (7) その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

〔5段階〕

- 5：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
- 3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
- 2：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。
- 1：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、令和4年度における業務実績の全体について、記述式により総合的に評価する。また、必要がある場合は、業務運営の改善その他の勧告をする。

青森県地方独立行政法人評価委員会委員及び専門委員

| 区 分 | 氏 名 | 役 職 等 |
|--------------|---------|---------------------------|
| 委員長 | 曾 我 亨 | 国立大学法人弘前大学 副学長・理事（研究担当） |
| 委員（委員長職務代理者） | 大 矢 奈 美 | 青森公立大学経営経済学部 教授 |
| 委員 | 倉 成 美納里 | 日本公認会計士協会東北会青森県会 公認会計士 |
| 委員 | 田 中 正 子 | 株式会社エール・キャリアスタッフ 代表取締役 |
| 委員 | 北 山 達 郎 | 日本政策金融公庫 青森支店 国民生活事業 事業統轄 |
| 専門委員（大学関係） | 熊 谷 崇 子 | 保健師 |

第二 評価の結果

1 全体評価

(1) 総評

青森県立保健大学は、本県の保健、医療及び福祉に係る諸課題の解決に向けて取り組むことを理念として、人間性豊かでグローバルな視点を持ち、地域特性に対応できる能力を兼ね備えた保健、医療及び福祉の中核的役割を果たすことができる人材を育成すること、並びに保健、医療及び福祉の教育研究拠点として培った人的資源や教育研究成果を広く地域社会に還元するとともに、産学官民の連携した取組による地域貢献活動を展開し、県民の健康と生活の向上に寄与することを使命としている。

第三期中期目標期間（令和2年度から令和7年度まで）の3年目である令和4年度は、学生へのキャリア支援の充実等により各種国家試験合格率及び就職率について高水準を維持しており、高い成果を上げたと認められる。

年度計画について、学士課程では理学療法学科を筆頭に国家試験合格率及び就職率を高い水準で実現していること、大学院課程では公衆衛生学修士コースの積極的な周知により同コースの多数の志願者・入学者を獲得したこと、休暇や旅費の申請事務について追加費用をかけずに電子化し教職員の事務負担軽減につなげたことなど、大学ではかなりの努力と工夫をもって対応がなされた結果、中期計画の達成に向けて、順調に実施したと評価できる。

(2) 業務の実施状況

業務の実施状況は、全体として年度計画に定めた事項は着実に実施されている。

| ＜評価結果の概要＞ | 特筆すべき 5 | 順調 4 | おおむね 順調 3 | やや遅れ 2 | 著しく遅れ 1 |
|--|------------|---------|-----------------|-----------|------------|
| (1)教育に関する目標を達成するための措置 | | ○ | | | |
| (2)研究に関する目標を達成するための措置 | | ○ | | | |
| (3)地域貢献及び国際交流に関する目標を達成するための措置 | | ○ | | | |
| (4)業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置 | | ○ | | | |
| (5)財務内容の改善に関する目標を達成するための措置 | | ○ | | | |
| (6)教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置 | | ○ | | | |
| (7)その他の業務運営に関する重要目標を達成するための措置 | | ○ | | | |

(3) 組織、業務運営等に係る改善事項等

特に改善勧告を要する事項はない。

2 項目別評価

| | | |
|------------------------|----|--------------------------|
| (1) 教育に関する目標を達成するための措置 | 評価 | 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。 |
|------------------------|----|--------------------------|

<評価の理由>

年度計画の記載 40 項目中 6 項目が「年度計画を上回って実施している」、34 項目が「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

学士課程においては理学療法学科を筆頭に国家試験合格率及び就職率を高い水準で実現していること、大学院課程においては公衆衛生学修士コースの積極的な周知により同コースの多数の志願者・入学者を獲得したことが評価できる。

<その他の意見>

大学院の収容定員について、教育の質の保証の観点から、適正な管理を進めていただきたい。

※1 各種国家試験合格率及び就職率

R 4 主な国家試験合格率

保健師 100%、看護師 97.2%、助産師 80%、理学療法士 100%、社会福祉士 81.3%、精神保健福祉士 90.0%、管理栄養士 97.1%

R 4 卒業生就職率

学部全体 98.6%

| | | |
|-------------------------------|-----------|----------------------------|
| (2) 研究に関する目標を達成するための措置 | 評価 | 4 : 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。 |
|-------------------------------|-----------|----------------------------|

<評価の理由>

年度計画の記載5項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4 : 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

外部研究資金の獲得については、各種支援により、研究者1人当たりの申請件数が数値目標を上回ったことが評価できる。

| | | |
|---------------------------------------|-----------|----------------------------|
| (3) 地域貢献及び国際交流に関する目標を達成するための措置 | 評価 | 4 : 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。 |
|---------------------------------------|-----------|----------------------------|

<評価の理由>

年度計画の記載11項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたこと等を総合的に勘案し、「4 : 中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<その他の意見>

地域の医療を先導する地域定着枠については、引き続き制度の周知を図っていくことを期待する。

| | | |
|---|-----------|---------------------------------|
| <p>(4) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置</p> | <p>評価</p> | <p>4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。</p> |
|---|-----------|---------------------------------|

<評価の理由>

年度計画の記載 11 項目中 1 項目が「年度計画を上回って実施している」、10 項目が「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

休暇や旅費の申請事務について追加費用をかけずに電子化し、教職員の事務負担軽減につなげたことが評価できる。

| | | |
|------------------------------------|-----------|---------------------------------|
| <p>(5) 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置</p> | <p>評価</p> | <p>4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。</p> |
|------------------------------------|-----------|---------------------------------|

<評価の理由>

年度計画の記載 6 項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたこと等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

数値目標を上回る外部研究資金の獲得がなされた点が評価できる。

<その他の意見>

職員宿舎の年間入居率は向上しており、年度計画の実施状況は順調である。引き続き入居率の向上に努めていただきたい。

| | | | |
|------------|---|-----------|--------------------------|
| (6) | 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置 | 評価 | 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。 |
|------------|---|-----------|--------------------------|

<評価の理由>

年度計画の記載6項目中2項目が「年度計画を上回って実施している」、4項目が「年度計画を十分に実施している」と認められたことに加え、下記の状況等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。

<特に評価する事項>

各部局の自己点検、授業改善への取組や複数の媒体による情報発信など、着実に行われている。

また、教員評価については、問題点を抽出しそれらを改善するために、評価の仕組みや処理方法の見直し及び規定の改正を行い、教職員の負担を軽減するとともに、システム管理費用を削減していることが高く評価できる。

| | | | |
|------------|---------------------------|-----------|--------------------------|
| (7) | その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置 | 評価 | 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。 |
|------------|---------------------------|-----------|--------------------------|

<評価の理由>

年度計画の記載6項目のすべてが「年度計画を十分に実施している」と認められたこと等を総合的に勘案し、「4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある」とした。